

方針	市の重点	学校の教育目標	市の重点との関連	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
郷土高山に根ざし、未来を切り開くための資質・能力を育む	②① 主体的・対話的に向かい合い仲間とともに挑戦できる生活をつくる授業をつくる	元氣 強い子 清見の子	確かな学力を身に付ける学習づくり めざす自分に向けての生活づくり 地域との連携を大切にしたい人権教育、ふるさと教育	① 主体的に課題解決を行う学習指導の充実	学びが生活につながる単元構成の工夫を行う。 一人一人ですることができる支援方法の工夫を行う。 算数が楽しいという児童80%以上をめざす。	B A B	・研究主題を「個が主体となる学び」とし、①終末までの見直しを持つための手立て ②自分の考えを高める仲間学びを研究した。電子黒板を積極的に活用し、教科書やノートを指し示したり、書き込んだりしながら説明する場を持つことで主体的な姿が増えた。 ・算数がわかる93% 算数が楽しい80% ・毎週、中部学院の先生からご指導いただきながら英語の授業の工夫をしてきた。 ・普段の授業で教師対児童のやり取りを重視したため、パフォーマンステストで積極的に自分の思いを表現できるようになってきた。 ・英語の授業がたのしい84%
				① ICTを活用した学習の推進	デジタル教科書を用いた授業を積極的に行う。 授業でのタブレット活用を積極的に行う。	A B	
				① 大学と連携した英語教育の推進	効果的なパフォーマンステストによる評価を行う。 英語の授業が楽しいという児童80%以上をめざす。	A A	
				② 対話活動や評価活動を生かした取り組み	真に強い子カードを活用し、懇談や評価活動を行う。 マイサポーター活動の確実な実施を行う。	A C	
				② たくましさを大切に「達成感・貢献感」を味わわせる取り組み	児童会による3本柱100%の取り組みを行う。 仲間の良さや自分の良さを見つけ発信する活動を行う。 特別支援教育の理解による、その子にあった支援を行う。	B A B	
				② 安心・安全を最優先にした教育活動の展開	コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインに沿った対応を徹底する。 児童・保護者に正しい情報を迅速に発信する。 児童・保護者の困っていることに寄り添い、相談活動を充実させる。	A A A	
				② 清見小学校人権宣言の推進	人権教育推進校として、人権の花運動に取り組む。 児童会の取り組み「あったか言葉を使いみんなを大事にする」自己評価90%を目指す。	A B	
				特 学校運営協議会活動の推進	タウンミーティングを企画、実施する 保・小・中と連携をとり、つながりのある教育活動を行う。	A A	
				特 ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間を中心とした教科横断的指導を行う。 地域の方と連携して地域の自然、産業、文化を学び発信する。	B A	

学校運営協議会における主な評価内容

・新型コロナウイルスにより、これまでの社会の仕組み等が大きく変わっていくと思いますが、そのことを前向きに捉え、チャレンジ精神をもって生きていける力をつけてもらえればと思います。  
 ・人権宣言に代表されるように、シトラスリボンプロジェクトなど地域・家庭・学校などを巻き込んだ活動としての展開を期待します。学校だけの取組だけでなくとどまらず、まち協・社教・観光協会などとも連携した活動への展開を期待します。